

第2回

医療と暮らしを考える会 教養講座(会場&オンライン併用)

会場&ズームで全国どこからでも、
どなたでも参加できます。

参加費
一般1500円
※会員1000円

★感染状況により全オンライン開催とする場合があります

ご連絡が出来るよう会場参加、オンライン参加とも、**事前申込み**をお願いします。
会場では当日参加も受け付けますが、当日にお電話で開催をご確認してください。

2022年 9月10日 土 17:30-19:30

レンタルスペースジェム 3階 大会議室A-1(詳細裏面)
(神戸市中央区元町通2-3-2 ジェムビル JR元町駅徒歩3分)

「施設における介護と看取り ～現代文化の落とし物～」

事前申込み

第1部:講演会

講師: 前田 政 則 氏

(神戸市ケアハウスふるさと 相談員)



「ふるさと」において生活相談員マネージャーとして働く前田さん。懸命に利用者のお世話をしながらも、時に施設スタッフと本人さん、また家族さんとの間でく違う景色が流れている>と感ずることがあるそうです。人と人との心の絆が生み出す「温もりある高齢者施設」に近づけるには、何が必要なのか？共に考えましょう。



第2部:意見交換会

【申し込み】QRコード入力又は事務局へメールで申し込みをして下さい。

一般の方は入力後1週間以内に振込みをお願いします。

参加申し込み

ゆうちょ銀行 記号: 14380 番号: 96016941

一般社団法人 医療と暮らしを考える会 (社) イリョウトクラシヲカンガエルカイ

※郵便局以外の銀行からの振込み店名: 四三八 (ヨンサンハチ) 店番号: 438
(普通) 口座番号: 9601694

《次回教養講座予定》

11月12日(土)17:30～ レンタルスペースジェム

テーマ: 新型コロナウイルス感染症の自宅療養

北須磨訪問看護リハビリセンター所長 前田 愛 氏

一般社団法人医療と暮らしを考える会

神戸市中央区元町通2丁目3-2 ジェムビル4階

TEL: 080 - 1476 - 5715

✉: iryou.to.kurashi@gmail.com



ホームページ



facebook



公式LINE

家族の風景に彩を添える



～家族の風景に彩りを添える～

一般社団法人 医療と暮らしを考える会

メインはあくまで “その人の人生”
家族関係は大切な思い出となり、人生に彩を与えます。

限られた時間の中で医療や福祉では担えない部分を見極め、私達自身が当事者として成すべき事を考え実行する団体。目指すは、『こころ豊かに生きる』です。

<患者の気持ちは経験していない人には分からない>という声・・・確かにそうでしょう。人に伝えられないものや言葉に出来ない思いを抱えつつ、患者が一人大きな壁の前に立つ日もあります。一方で「家族の哀しみは患者には分からないのだ」という事も、“がん患者グループゆずりは”に関わる中で見えてきました。立場は違えども一人ひとりが哀しみを持ちながら生きている事実。胃がんになった時、医療スタッフだけで私の揺らぎを抑えるには限界があると感じて患者会に入りましたが、活動を重ねるにつれ、<寄り添い、人を支える>というのは一筋縄ではいかないものだと思うようになりました。

皆様方に注目して頂きたい二つの事があります。その一つは様々な処置が医療で可能であるが故に、医療を受ける市民一人ひとりが“私にとって医療とは何か？”を考えておく必要があるという事。「がんであろうがなかろうが、人は必ず死ぬ」という事は皆が知っています。しかしながら、がんになるとそれが想定以上に早くやってくる場合があります。淡い希望にすぎり、想定外の将来に目を逸らし続けた結果、本当に大切な事をやり残してしまつたと後悔する人がいます。自分の大切なものを見極める力が患者側に求められる時代となってきた現代。医療とは何なのかを考えながら進むハンド操作が私達に必要です。

もう一つは「希望が見えなくなった時でも、“温かい気持ちを抱かせる力”は家族が持っている」という事。最近では核家族化が進み、親がガン治療を受けていても子供達は別々に暮らし、闘病する者が暮らす実家の緊張感・空気感は体感できません。その状況では親の現実を推測し、気持ちを察する事がとても難しいので、日々の仕事に忙しい子世代と親との間に見えない溝が流れる事があります。そんな時、「自分達(親子間)に流れる温かさに代わるものはどこにもないという思い」を互いに持ち続けて欲しいのです。

この2つを社会に伝えたくて32年間薬剤師として勤務していた北野病院(大阪市北区)を2019年に退職、医療との向き合い方を考える「医療と暮らしを考える会」を神戸で設立しました。医療では担えない部分を見極め、各自がなすべき事を考えた上、こころ豊かに生きるを目指します。社会のお役に立つことを祈りながら、活動して参ります。ご支援の程、よろしくお願いいたします。



一般社団法人医療と暮らしを考える会 理事長

教養講座会場(レンタルスペースジェム)

神戸市中央区元町通2丁目3-2 ジェムビル2階or3階



JR元町駅西口より徒歩3分 元町商店街南側のビル
(元町2丁目のコメダ珈琲の斜め前)

元町通に面した階段を上がり、エレベータをご利用ください



～医療と暮らしを考える会～

【理念】患者と家族が様々なシチュエーションに正面から向き合うための情報を取得し、互いに思いやりのある関係創りを目指し、より深く生きるを考える社会構築に寄与する。

(個人) 入会金 3,000円 年会費 5,000円
(法人) 入会金10,000円 年会費20,000円/1口
(学生) 入会金 無料 年会費 3,000円



入会申し込みフォーム

【主な活動】

- ・ズーム座談会 医療や暮らしの問題を参加者で考えます
毎月第四(水) 20:30～22時
どなたでも参加可 無料
- ・教養講座 奇数月開催 (会員1000円、一般1500円)
神戸元町会場&ズーム併用
- ・がん患者と並走する心得セミナー(会員割引あり)

理事長:宮本直治 (みやもと なおじ)

1960年生まれ。学生時代に肺がんの母親を自宅で看取る。大阪の病院にて薬剤師として勤務するかたわら、野田風雪氏に師事して仏法を学ぶ。2007年胃がんステージⅢで手術。その後僧籍を取得し、緩和ケア病棟(ホスピス)のビハーク僧研修生。「与えられた時間と環境の中で生き方を考え、豊かに生きる」を見つめ、それぞれの持ち前を社会に活かす活動に力を注ぐべく32年間勤務した病院を退職。2020年医療と暮らしを考える会を設立し、2022年同会を一般社団法人とする。

医療と暮らしを考える会理事長
がん患者グループゆずりはは代表
宿坊で語り合うガン患者の集い主宰
日本ホスピス・在宅ケア研究会理事
がん患者団体支援機構副理事長
ビハーク僧(浄土真宗僧侶)、薬剤師